

# 警察官 (I 類) 教養試験問題

平成 21 年 1 月 18 日 (日) 実施

※ 指示があるまで開いてはいけません。

**【注意事項】**

- 1 問題は全部で**50題、26ページ**です。**2時間**で解答してください。
- 2 解答用紙の記入方法は次のとおりです。
  - (1) 組・教室番号、試験区分、受験番号はあらかじめ記入・マークされていますので、誤りがないか確認してください。
  - (2) 受付番号、生年月日、フリガナ、氏名、年齢を正しく記入してください。

【例】 3組、試験区分 I 類、受験番号 123番、受付番号 654番、生年月日が昭和 55年 3月 3日の受験者 (男性警察官) は、下記のようになります。

003				00123		00654		550303		
番号		試験区分		受験番号		受付番号		和暦 月 日		
組	●●○	警察官	I 類 ●	●●○	●●○	●●○	●●○	○	○	○
	①①①	男性	II 類 ○	①①●	①①①	①①①	①①①	①	①	①
	②②②		III 類 ○	②②②	●②	②②②	②②②	②	②	②
教室	③③●	警察官	I 類 ○	③③③	③●	③③③	③③③	③	③	③
	④④④	女性	II 類 ○	④④④	④④	④④④	④④④	④	④	④
	⑤⑤⑤		III 類 ○	⑤⑤⑤	⑤⑤	⑤⑤⑤	⑤●⑤	⑤	⑤	⑤
番号	⑥⑥⑥			⑥⑥⑥	⑥⑥	⑥⑥⑥	⑥●⑥⑥	⑥	⑥	⑥
	⑦⑦⑦			⑦⑦⑦	⑦⑦	⑦⑦⑦	⑦⑦⑦	⑦	⑦	⑦
	⑧⑧⑧			⑧⑧⑧	⑧⑧	⑧⑧⑧	⑧⑧⑧	⑧	⑧	⑧
	⑨⑨⑨			⑨⑨⑨	⑨⑨	⑨⑨⑨	⑨⑨⑨	⑨	⑨	⑨

- (3) 教養試験解答欄は、各問題の解答番号 1 から 5 のうち正しいと思う解答番号の○を HB の鉛筆又はシャープペンシルで黒く塗りつぶしてください。
  - (4) 各問題とも正解は一つですから、二つ以上塗ると誤りになります。
  - (5) 一旦記入してから書き直す場合は、消しゴムできれいに消してください。  
※ 砂消しゴムは絶対に使わないでください。
  - (6) 解答用紙にある注意事項をよく確認してください。
- 3 問題の計算などでメモをしたい場合は、問題用紙の余白を使ってください。
  - 4 試験時間中に問題集を切り取る、計算機を使用する、携帯電話を操作する等の行為は、一切禁止します。
  - 5 試験終了後、この問題集は持ち帰ることができます。

本試験問題の無断転載及び複製を一切禁止します。

[No. 1] プライバシーの権利に関する次の記述のうち、我が国の現行制度に照らして妥当なものはどれか。

- (1) プライバシーの権利の憲法上の根拠は、精神の自由及び住居の不可侵であって、これを現代社会の課題にあうように構成したものである。
- (2) プライバシーの権利は、小説『宴のあと』のモデルとされた人が作者を訴えた訴訟などにおいて、読者の知る権利との衝突が問題となっている。
- (3) プライバシーの権利を具体的に保護するために制定された個人情報保護法は、国や地方公共団体のみならず民間事業者も対象としている。
- (4) 情報公開法には、プライバシーの権利に基づき、行政機関が保有する自己情報の誤った事実について訂正及び利用停止を求める手続きが規定されている。
- (5) プライバシーの権利の観点から、犯罪捜査のために捜査機関が電話などの電気通信の傍受を行う根拠であった、通信傍受法が廃止された。

[No. 2] 我が国の国会における衆議院と参議院の関係に関する次の記述のうち、憲法に照らして妥当なものはどれか。

- (1) 法律案は先に衆議院に提出しなければならないが、法律が成立するためには必ず両議院で可決する必要がある。
- (2) 予算について衆議院が可決し、参議院が否決した場合、衆議院は再可決により予算を成立させることができる。
- (3) 内閣総理大臣の指名及び内閣不信任の決議は、両議院のうち衆議院のみが行行使することができる権限に属する。
- (4) 条約の締結について、衆議院が承認し、参議院が反対で両院協議会でも意見が一致しなければ、衆議院の議決を国会の議決とする。
- (5) 裁判官の罷免について衆議院と参議院とで異なった決定をした場合は、衆議院の決定を国会の決定とする。

[No. 3] 地域住民が地方自治に直接参加する次の制度のうち、憲法の明文によって認められているものはどれか。

- (1) 特別法に対する住民投票
- (2) 条例の制定又は改廃の請求
- (3) 事務の監査の請求
- (4) 議会の解散にかかる住民投票
- (5) 長の解職にかかる住民投票

[No. 4] 王権神授説を唱える絶対主義の立場からの攻撃に対し、権利請願の起草にたずさわったエドワード・コークが慣習法の尊重とともに擁護した思想で、「マグナ・カルタ」以来の伝統をもつものは、次のどれか。

- (1) 人民主権
- (2) 社会契約
- (3) 抵抗権
- (4) 権力分立
- (5) 法の支配

[No. 5] 我が国の選挙に関する次の記述のうち、現行制度に照らして妥当なものはどれか。

- (1) 選挙運動期間中の戸別訪問の解禁や文書活動の規制撤廃など、選挙運動に対する規制は大幅に緩和された。
- (2) 日本国民であっても、選挙の時点で海外で活動している場合、外国から投票することは認められていない。
- (3) 選挙違反で有罪判決を受けた候補者と同一選挙区同一政党の候補者は、連座制により当選が取り消される。
- (4) 両議院とも比例代表区は非拘束名簿式比例代表制が採用され、政党の中で得票の多い候補者から順に議席を得ることができる。
- (5) 企業ないし労働組合による政治家個人に対する献金は、政治資金規正法によって、一律に禁止されている。

[No. 6] アメリカ合衆国の政治機構に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。

- (1) 大統領は、国民の直接選挙によって4年間の任期で選ばれる。
- (2) 大統領は、連邦議会に対して法律案を提出する権限を持たない。
- (3) 大統領は、連邦議会を解散して、総選挙によって国民の意思を問うことができる。
- (4) 連邦議会の議員定数は、上下両院とも各州の人口に比例する。
- (5) 連邦最高裁判所は、連邦議会が可決した法律案に対する拒否権を持つ。

[No. 7] 国際業務を営む銀行に対し、金融サービスにおける信用秩序を維持するため、国際決済銀行（B I S）が定めている規制の対象項目は、次のどれか。

- (1) 自己資本比率
- (2) 預金準備率
- (3) 不良債権比率
- (4) 市場占有率
- (5) 基準貸付利率

[No. 8] 小泉政権が策定した「骨太の方針 2006」は 2011 年度のプライマリー・バランスの黒字化を財政再建目標としているが、次のうち、その算定から除かれる項目はどれか。

- (1) 公務員給与
- (2) 公共投資額
- (3) 防衛費
- (4) 国債発行額
- (5) 社会保障費

[No. 9] 次は、ある国に関する記述であるが、該当する国はどれか。

2008年11月25日から12月2日にかけて、タクシン派の一扫を求める市民団体「民主主義のための市民同盟」（PAD）が、スワンナプーム国際空港など二つの空港を封鎖し大きな社会混乱が続いた。混乱の中、最大与党の「国民の力党」が、2007年12月の選挙違反を理由に憲法裁判所の判断により解党処分になり、「民主党」を中心にした連立協議が行われた結果、2008年12月17日、アピシット・ウェチャチワ氏が新首相に就任した。

- (1) ミャンマー
- (2) カンボジア
- (3) パキスタン
- (4) タイ
- (5) インドネシア

[No.1 0] 2008年12月1日、オバマ次期アメリカ大統領は新政権の国家安全保障担当チームの陣容を発表したが、発表された新政権の国防長官は誰か。

- (1) ロバート・ゲーツ
- (2) ヒラリー・クリントン
- (3) コンドリーザ・ライス
- (4) ジョゼフ・バイゼン
- (5) ディック・チェイニー

[No.1 1] 1854年に締結された日米和親条約で、開港された港は箱館とどこか。

- (1) 長崎
- (2) 浦賀
- (3) 横浜
- (4) 神戸
- (5) 下田

[No.1 2] 豊臣秀吉が、1583年に柴田勝家を破り、実質的に織田信長の後継者の地位を固めた戦いは、次のどれか。

- (1) 姉川の戦い
- (2) 賤ヶ岳の戦い
- (3) 山崎の戦い
- (4) 三方ヶ原の戦い
- (5) 長篠合戦

[No.1 3] 古代地中海世界で約300年間に及んだヘレニズム時代が始まる契機となった出来事は、次のどれか。

- (1) ペルシア戦争
- (2) ペロポネソス戦争
- (3) アレクサンドロスの東征
- (4) コンスタンティノーブル遷都
- (5) ローマ帝国の東西分裂

[No.1 4] 帝国主義時代の欧州列強によるアフリカ分割において、エジプトを占領して南下政策を進める一方で、南部のケープ植民地を足がかりに南アフリカ戦争を遂行して、アフリカの南北を押さえる植民地政策を展開した国は、次のどれか。

- (1) イギリス
- (2) フランス
- (3) ドイツ
- (4) オランダ
- (5) スペイン

[No.1 5] 次の図のA～Eの山地の名称として、妥当なものはどれか。

- (1) A - 日高山脈
- (2) B - 出羽山地
- (3) C - 木曾山脈
- (4) D - 讃岐山脈
- (5) E - 筑紫山地



[No.16] 次は、ある都市に関する記述であるが、該当する都市はどれか。

目覚ましい発展を遂げているインド経済の中心地で、同国の金融・商業の中心地である。世界の企業が進出しており、日本企業の駐在員も多い。人口は約 1,200 万人、周辺を含めた都市圏の人口は 2,000 万人を超えるインド最大の都市である。

- (1) デリー
- (2) カブール
- (3) イスラマバード
- (4) テヘラン
- (5) ムンバイ

[No.17] 次は、ある作家についての記述であるが、該当する作家は誰か。

1956 年に新潟に生まれ、1988 年に『花月秘拳行』でデビューし、新史料をもとに描く旺盛な作家活動で、歴史小説界に新風を巻き起こしてきた。主な作品に、豊臣秀吉の侍医兼参謀として暗躍した施薬院全宗に着目した『全宗』、徳川家康側近の金地院宗を描いた『黒衣の宰相』、藤堂高虎の実像に光を当てた『虎の城』、上杉景勝の家老直江兼続の生涯を描いた『天地人』などがある。

- (1) 海堂 尊
- (2) 水野 敬也
- (3) 宮尾 登美子
- (4) 茂木 健一郎
- (5) 火坂 雅志

[No.18] ベンサムの間人観に関する記述として、妥当なものはどれか。

- (1) 人間の認識は感覚を通して経験的に与えられたものが、理性によって秩序づけられ、一つの知識として成立する。
- (2) 世界の中にある人間存在は、「ひと」の中に埋没し、そしてまた世界の中に投げ出されているという不安にかられている。
- (3) 人間は幸福や快楽を求め、不幸や苦痛を避ける傾向をもっており、それは人間の本性である。
- (4) 人間は自由であるがゆえに、置かれている現実の状況の中で、自分自身にも社会にも責任を負っている。
- (5) 人間の認識は、肉体同様、その能力を次第に高めてゆくもので、成長していくに従ってわれわれ自身がどのような存在であるかを深く知るようになる。

[No.19] 次の四字熟語の組み合わせのうち、漢字が二つとも正しいものはどれか。

- (1) 大義名文 自画自賛
- (2) 綱紀肅清 朝令暮改
- (3) 奇想天外 付和雷同
- (4) 異句同音 不撓不屈
- (5) 心気一転 一蓮托生

[No.20] 次の文の下線部の表現のうち、その用法が妥当なものはどれか。

- (1) 無駄遣いは二度としないと、心を鬼にして誓った。
- (2) あまりの素晴らしさに、皆あぜんとした。
- (3) 大勢の人が芋づる式に倒れる。
- (4) そこまで値切って買うなんて、何ともいじましい話だ。
- (5) 注意されていたのに、つい彼女の琴線に触れ、激しい怒りを買った。

[No.21] 次にあげる元素のうち、価電子を7つ持ち、フッ素や臭素と同じハロゲン族に属するものはどれか。

- (1) ケイ素
- (2) 塩素
- (3) 硫黄
- (4) リン
- (5) アルゴン

[No.22] 次にあげるヒトの筋肉のうちで、自律神経系によって支配される横紋筋にあたるものはどれか。

- (1) 顔面の筋肉
- (2) 心臓の筋肉
- (3) 胃の筋肉
- (4) 血管壁の筋肉
- (5) 腕の筋肉

[No.23] 整式  $x^3 - ax + 12$  が  $x - 3$  で割り切れるとき、定数  $a$  の値はどれか。

- (1) 11
- (2) 12
- (3) 13
- (4) 14
- (5) 15

[No.24] 次の文の空所(A)~(E)に (1) ~ (5) の語句を入れて、文を完成させるものとする。  
(B)に入る語句はどれか。

Feeling (A) and not (B) it is (C) (D) a present and (E) giving it.

- (1) expressing
- (2) not
- (3) wrapping
- (4) gratitude
- (5) like

[No.25] 2つの文が同じ意味になるように、空所に一つずつ語句を入れたい。空所 (A) に入る語句はどれか。

- (a) I couldn't visit you yesterday because my mother was ill.
- (b) My mother's illness ( A ) me ( B ) ( C ) you yesterday.

- (1) made
- (2) prevented
- (3) ordered
- (4) happened
- (5) caused

[No. 26] 次の英文の空所( )に入る語句として、最も妥当なものはどれか。

Perhaps the most obvious way in which birds differ from men in their behaviour is that they can do all that they have to do, including some quite complicated things, without ever being taught. Flying, to start with, is an activity which, for all its astonishing complexity of balance and aeronautical adjustment, comes untaught to birds. Young birds very frequently make their first flight when their parents are out of sight. Practice of course makes perfect and puts a polish on the somewhat awkward first performance; but there is no elaborate learning needed as with our learning of golf or tennis or figureskating. Furthermore, the stories of old birds teaching their young to fly seem all to be erroneous. Some kinds of birds, once their young are full-fledged, do try to lure them away from the nest. But this merely encourages them to take the plunge; there is no ( ) by the old bird in the movements of flight, no conscious imitation by the young.

[語義] behaviour = behavior / aeronautical 飛行術 / awkward ぎこちない / elaborate 入念な / erroneous 誤りの / full-fledged 羽の生えそろった / lure 誘う

- (1) flight
- (2) originality
- (3) inspiration
- (4) communication
- (5) instruction

[No.27] 次の英文の主旨として、最も妥当なものはどれか。

By “strategy” I mean creating sustaining values for the customer far better than those of competitors. It therefore means first of all invention and the commercialization of invention. Most people in big companies have forgotten how to invent. They know how to buy and sell businesses or produce me-too products, but they don't develop products that are really better. Nor do they develop new businesses to support these new ideas.

I don't mean just large-scale, high-tech development projects like High Definition Television (HDTV), but products used everyday by most men and women. How do you make a coffeepot, for example, that actually makes better coffee? Or a bubble bath that really is good for your skin? How many product managers staring at their computer screens do you think could do that? Not many. They're too worried about competition and market-share and profitability figures. I believe it's time for big companies to relearn the art of invention. But this time they must learn to manage invention in industries or businesses that are global, where you have to get world-scale economies and yet tailor products to key markets.

[語義] strategy 戦略 / me-too 追従的な / profitability 収益性

- (1) 企業戦略の核心は、新しいビジネスを開発するにあたり、競争や市場占有率や収益性を的確に判断することにある。
- (2) グローバルな現代の産業にとって、新製品の発明は、大規模な、先端技術を用いた開発プロジェクトの形態をとる。
- (3) 他社との競争に勝ち抜くために企業は、市場の動向や顧客の要望を的確に把握する調査研究に精力を費やしている。
- (4) 現代の企業戦略においては、新製品開発の努力の多くがささいな改良に費やされており、本当の革新が見られない。
- (5) 世界規模でビジネスを展開する現代の大企業に必要なのは、本当に利用者が望んでいる製品を発明によって開発するという戦略である。

[No.28] 次の文章の空所（ ）に入る語句として、最も妥当なものはどれか。

人間存在において最も手近に見いださるる物が道具であるという洞察はまことに教うる  
ところの多いものである。元来「道具」とは本質的には「……するためのもの」である。た  
とえば槌は「打つためのもの」であり靴は「はくためのもの」である。ところでこの「……  
するためのもの」は、そのものが使用せられる目当てとしての「何のために」に対して、内  
在的な関係を持っている。たとえば槌は靴を作るための道具である。しかしまた靴も歩くた  
めの道具である。かく「何のため」を常に指示しつつ「するためのもの」であるところに、  
すなわち「ための連関」であるところに、道具の本質的な構造がある。そうして「ための連  
関」は人間の存在から出てくるのである。ところで我々はこのような「ための連関」を開始  
せしめる根元に人間存在の風土的規定を見いださざるを得ない。靴は歩くための道具である  
が、しかし多くの人間はこの道具なくして歩くことができた。靴を必要としたのは寒さや暑  
さである。着物は着るためのものであるが、着るのはまず第一に寒さを防ぐためである。だ  
から「ための連関」はその終局するところに風土的な自己了解を控えていると言わなくては  
ならぬ。たとえば我々は寒さや暑さにおいて自己を理解するとともに自己の自由にもとづい  
て「防ぐため」という一定の方向を取る。寒さ暑さの契機なしに全然自発的に着物を作り出  
すのではない。従って「防ぐために」から「何をもって」に向かって己れを指し示すときに、  
すでにそこに風土的な自己了解が顕わにされるのである。だからこそ着物は暖かくあるいは  
涼しく、厚くあるいは薄く、種々の形において製作せられる。羊毛、綿花、絹というごとき  
ものが衣服の材料として社会的に見いだされてくる。(略)従って道具が我々にとって最も  
手近なものであるということは、（ ）ということにほかならぬであ  
ろう。

- (1) 道具は、常に何かをするために存在する
- (2) 風土的規定が対象成立の最初の契機をなす
- (3) 「ための連関」であるところに、道具の本質的な構造がある
- (4) 人間は、自己の自由にもとづいて自発的に道具を作り出す
- (5) 道具を作り出すことは、人間に与えられた本能的欲求である

[No.29] 次の文章の空所 a～c に該当する語句の組み合わせとして最も妥当なものはどれか。

賢者たちが、普通人にむかって、普通人の言葉でなく彼ら自身の言葉で語ろうとすれば、彼らのいうことは理解されないだろう。ところが、人民の言葉に反訳できない観念は、沢山ある。あまりに一般的な見解、あまりにもかけ離れた対象は、ひとしく人民には手がとどかないものである。各個人は、自分の個別的利害に関係があるのでなければ、どんな政府案も好まないのだから、良法が課する（ a ）からえられるにちがいない利益を、容易に認めようとはしない。生まれたばかりの人民が、政治の健全な格律を好み、国是の根本規則にしたがいうるためには、結果が原因となること、（ b ）たるべき社会的精神が、その制定自体をつかさどること、そして、人々が、法の生まれる前に、彼らが法によってなるべきものになっていること、などが必要なのであろう。こうして、立法者は、力も理屈も用いることができないのだから、必然的に他の秩序に属する権威にたよる。その権威は、暴力を用いることなしに導き、理屈をぬきにして納得させうるようなものである。

このようなことから、あらゆる時代を通じて、建国者たちはやむなく、天の助けにたより、彼ら自身の英知を神々のものとしてほめたたえたのである。それは、人民が、自然の法則にしたがうのと同じように国家の法律にしたがい、人民の形成と国家の形成とのなかに同じ力 [か] はたらくの] をみとめ、自由な心で服従し、（ c ）のクビキをすなおにうけるようにするためだったのである。

注： [ ] は原文のまま。クビキ～自由を束縛するもの

- |     | a       | b     | c     |
|-----|---------|-------|-------|
| (1) | 自由な社会活動 | 人民の良識 | 宗教的権威 |
| (2) | 自由な社会活動 | 制度の産物 | 公共の幸福 |
| (3) | 自由な社会活動 | 人民の良識 | 公共の幸福 |
| (4) | 永続的な不自由 | 制度の産物 | 公共の幸福 |
| (5) | 永続的な不自由 | 人民の良識 | 宗教的権威 |

[No.30] 次の短文A～Eを並べかえて一つのまとまった文章にしたい。その配列として最も妥当なものはどれか。

科学と文学の対立は、言語活動のある種の受けとめ方と本質的にかかわりがあり、前者は言語活動を回避するが、後者はそれを引き受けるので、この両者の対立は、構造主義にとってことのほか重要である。

- A だが、このような両者の一致は、ある種の摩擦、いやさらには、ある種の分裂を排除するものではない。それは、構造主義が、つぎの二つの行き方のどちらを選ぶかによる。
- B ということは、つまり、それ自身言語学的モデルから生まれたものである構造主義は、言語活動の営為である文学のうちに、自分自身と似ているところか完全に同質的な対象を見出すということである。
- C たしかに構造主義という語は、たいていの場合、外から押しつけられたものであって、目下のところ、ときには互いにくいちがい、ときには敵対しさえする、非常にさまざまな企てに適用されているから、構造主義を代表して語る権利が自分にあると主張することは誰にもできない。
- D 筆者もまたその権利を主張するものではないが、ただ筆者は、現在の《構造主義》のうちで、もっとも特殊な、ひいてはもっとも関与的なものだけを取り上げ、構造主義という名前によって、さまざまな文化的営為を分析するある種のやり方を指す——それが現代言語学の方法にならっているかぎりにおいて指す——ことにしている。
- E すなわち、その対象となるものに対して科学的な距離を保とうとするのか、それとも逆に、自己のおこなう分析が、あの無限に続く言語活動——今日、文学とは、そうした言語活動を横切る航海にほかならない——のうちに巻き込まれ、見失われることを受け入れるのか。つまり要するに、科学たらんとするのか、エクリチュールたらんとするのか。

- (1) A-B-E-C-D  
(2) B-A-E-D-C  
(3) C-D-B-A-E  
(4) D-E-C-B-A  
(5) E-C-D-A-B

[No.3 1] 次の文章の主旨として、最も妥当なものはどれか。

経験は、つねに、経験する個人と経験される事実とをあわせ含んだ全体的な状況のなかで成立する。そのため私的であると同時に公共的、主観的であるとともに客観的、という二重性格が経験にとっては本質的なものである。一定の状況におけるひとりの人の経験が、その際のおもな関心、願望、意図などによって規定されることは明らかであり、またそのひとの素質、経歴、訓練によってえた技能、学びとられた知識なども、経験のあり方をさだめる要因として絶対に無視することができない。ひとつの経験は過去を負い未来を志向し、時間的、動的に展開する過程のひとつとして、各人の生活の歴史のなかに位置をもつのである。さて、経験する個人の側に属するさまざまな要因が経験の内容を規定し、いろどるとしても、経験というからには、主観的な要因によって左右されることのない、かたい事実の核がその内容に含まれていなければならぬ。つねに個人的、私的なものである経験は、同時にまた客観的な事実との接触、公共の世界への参与にほかならない。私たちが各自の経験について語る場合、自分以外の誰であってもおなじ状況、ひとしい条件のもとで同一の手続をふむならば、自分が経験したその事実を経験できるということを暗黙のうちに前提しているはずである。つまり、自分の経験が他人にも確かめられる真理を含んでいると信じて語っているのである。経験のこの二面性は、どのような関心から、またどのような理論的抽象のレベルで経験が論じられる場合でも、忘れてはならぬことであろう。私たちが知識の問題との関連で経験を考察するときも、個々の経験をつつむ主観的、客観的な二重の脈絡のなかで経験と知識の関係が分析さるべきであろう。(略) 日常的な思考の次元においてすら、「経験」の概念はいわゆる「客観的妥当性」を、あるいは「検証可能性」を前提している。少くとも要求として含んでいる。また、すでに指摘したように、いかなる経験もそれ自身のうちに過去の経験を通じてえられた知識を含み、知識によって制御され組織されている。何の知識も含まない「純粹経験」とは理論的抽象の所産である。現実の世界に関するすべての情報が感覚器官を経由して私たちのもとに届くことは確かであるが、推論や知識をまったく含まない直接的、感覚的な経験とその所与について語るためには、物理学や神経生理学の理論をも含めて、普通の物理的対象についてのさまざまな知識を前提しなければならぬ。

- (1) 経験は、いかに主観的なものであっても、さまざまな客観的な要因に規定されているという二重の性格をもつ。
- (2) 経験はまず主観的に認識され、そこに含まれる事実が客観世界との交渉の中で知識としての妥当性を獲得する。
- (3) 経験と知識は密接不可分な関係にあるが、経験は堅い事実の核を内容として含む点で、知識よりも限定される。
- (4) 経験は本質的に、主観的な面と客観的な面を兼ね備えているゆえに、経験と知識とは密接不可分な関係にある。
- (5) 純粹経験は、客観的妥当性あるいは検証可能性という前提を欠くがゆえに、抽象的・観念的な思弁に過ぎない。

[No. 3 2] 次の文章の主旨として、最も妥当なものはどれか。

哲学とは、まず言葉によって世界を説明する行為である。だがそれだけではない。世界を説明するだけなら、たとえば神話や物語などの方法でもできる。哲学の世界の説明は、ある要求を含んでいる。それは先に述べたように、推論を限界まで押しすすめようとする性質を持っているのだ。言い方を換えると、世界の全体と起源を問題にするのである。

このことにはちょっとした理由がある。哲学が基本的にそのように思考するのは、いわば人間の理性の本性からくるのである。

これはカントが言っていることだが、彼によると理性の本性は推論の能力であり、この理性の推論の能力とは、もうそれ以上進めないところまではいくらでも新しい推論を生み出すような力なのである。

神話や物語を支えているのは想像力であって理性ではない。想像力は、たとえば神が世界を七日間で創った、という像に満足するが、理性は、では神はいつどのように現われたのかと推論する。この果てしない疑問（推論）の能力が理性の本性であって、理性はしたがって必ずその限界までいきつかないと満足しないのだ。

哲学においては、理性のこのような本性が、世界の全体（=総体）と起源を問わずにはおられないようにさせているのである。

だがまた、このことが哲学においてつぎつぎに異説が生み出される根本原因でもある。というのは、もともと言葉というものは世界の全体や起源を言い尽せないようにできているからだ。このことにも理由がある。

ほんらい世界というものは、わたしたちにとって汲み尽せない「無限」な相として存在している。これは世界がもともと「無限」だということではなく、人間が自由な存在であることと裏返しの事態なのである。ところが、理性的な言葉は、世界をある同一な全体として措定しようとする。だから言葉が世界をひとつの全体として言い当てようとした途端、わたしたちは一方で必ず、言葉によって規定された世界をはみ出すような世界の総体を思い描くのである。

- (1) 世界が、わたしたちにとって汲み尽せない「無限」なものとして存在しているのは、世界がもともと「無限」だということである。
- (2) もともと言葉というものは、世界の全体や起源を言い尽せないようにできている、神話や物語を支えているのは想像力であって理性ではない。
- (3) 哲学とは言葉で世界を説明しようとする行為であるが、それは推論を限界まで押しすすめようとする性質を持っている。
- (4) 哲学においては、人間は理性の本性から世界の全体と起源を表現しようとするが、世界全体を捉えることができる言葉を持っていないのである。
- (5) 果てしない疑問（推論）の能力が理性の本性であって、理性の言葉は世界の起源を問わずにはおられないのである。

[No. 3 3] 次の文章の主旨として、最も妥当なものはどれか。

目の前にこの本が見えるが、本は大きいから実在するとは言い切れない。われわれの頭脳に入るのは、本から反射する光の刺激であって、本そのものではない。泡箱の軌跡は、荷電粒子が泡箱の中の液体を刺激してイオン化させ、それらのイオンが種子となって泡粒を発生させ、泡粒が成長すれば光を反射して見えるようになる、という過程によるものである。これは本を見る過程よりは複雑だが、本質的にちがうと言えるだろうか。

「実在とは何か」は昔から哲学者がとり上げてきた問題であるが、その出発点は右のような素朴な疑問にある。この疑問に対する科学者の態度は、極めて常識的なもので、われわれが日常使っている推論方法の延長にすぎない。

もし目の前に見える本が実在するかどうか疑わしいと思ったら、われわれは手を出して触ってみるだろう。それでも夢かもしれないと疑えば、傍の人にたずねて、同じ本が見えるかどうか確かめるという手もある。あらゆるチェックをしてみてもどこにも矛盾が生じなければ、われわれは本が実在すると結論する。一度結論してしまえば、もちろんこんなめんどろなことをいちいち繰り返すわけではなく、実在性の疑問は意識の外に出てしまう。しかし今までに経験したことのないものに初めて出会うとき、例えばUFOを見たとき、われわれがどう振舞うかを考えてごらん下さい。右に述べたチェックの過程がなるほどと理解できるだろう。

原子の実在性も結局は同じプロセスによって確立されたものである。原子がかくかくの性質を持つと仮定してあらゆるチェックをパスすれば、われわれは原子が実在すると信ずるようになる。そしてチェックの種類をふやすにつれて、原子の性質に関する知識が精密になる。つまり原子の実在性を根本的に覆すことなしに、絶えず修正したり、補充したりしていくわけである。もし仮説が良くなければすぐどこかにボロが出て、いろいろ見苦しい小細工をしなければならなくなるだろう。小細工が次から次へと必要になるような仮説は大い根本からまちがっているから、御破算にして出発しなすべきである。これに反して正しい仮説をうまく見つければ、あらゆる謎が次から次へと解けてくる。これは例えばクロスワードパズルを解こうとするときの事情によく似ている。たしかだと思ふやさしい箇所から出発しているんな単語をあててみる。ある程度うまくいくようでも、詰めてゆくとどこかに矛盾を生ずる。単語を多少変えてもなかなかスムーズに進まない。しかし突然インスピレーションが閃いて正しい鍵を発見する。あとはほとんど自動的である。

物理学における仮説がこのような状態に達したとき、われわれはそれが真実であり実在であると認めて疑わなくなる。

- (1) 原子の実在性が本の実在の場合と異なるのは、それを支える物理学的な仮説が絶えず修正や補充を必要とする点にある。
- (2) 物理学における仮説は、修正や補充を繰り返す過程からではなく、インスピレーションによって発見されるものである。
- (3) 原子が実在するという物理学における仮説も、必ずしも確立された真実とは言えず、常に検証を必要とするものである。
- (4) 物理学における仮説が正しいか否かは、修正や補充を必要とする程度に関するものであり、相対的な性格のものである。
- (5) 物理学的な実在というのは、実在するという仮説があらゆる検証に矛盾せず、きれいにつじつまが合うということである。

[No. 3 4] ある町で新聞を定期購読している住民から 100 人を選んでサンプル調査を行った。その結果は、44 人がA新聞、32 人がB新聞、購読している新聞がA新聞でもB新聞でもない人が 30 人であった。このうち、A新聞を購読していてB新聞を購読していない人の数は、次のどれか。

- (1) 34 人
- (2) 36 人
- (3) 38 人
- (4) 40 人
- (5) 42 人

[No. 3 5] A 駅始発で、順にB駅、C駅、D駅を経由して、E 駅終点の乗り合いバスがある。始発時点で男性 3 人と女性 4 人の乗客があった。B 駅では誰も降りず 3 人乗り込み、C 駅では男性客の半分が降りて 1 人乗り込んだ。さらに、D 駅で女性客 2 人が降りて男性客 2 人が乗り込んだところ、終点のE 駅に着いたときの男性客は女性客より少なかった。このとき、終点における女性客数を始発時点のそれと比べた増減は、次のどれか。

- (1) 変わらない。
- (2) 1 人増えた。
- (3) 1 人減った。
- (4) 2 人増えた。
- (5) 2 人減った。

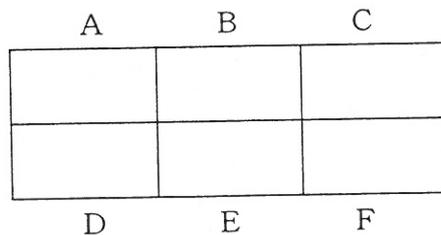
[No. 3 6] 一組のトランプからジョーカーを除いた 52 枚を重ねて置いたとき、ハートの 1 のカードは上から 14 枚目であった。このカードのたばを上下二つの部分に分け、それぞれの部分では積み重ねた順序を変えずに、下の部分を抜き出してそのまま上の部分に重ねると、ハートの 1 は上から 36 枚目になった。このとき、最初に上から 40 枚目であったカードは、置き換えた後、上から何枚目になったか。

- (1) 10 枚目
- (2) 15 枚目
- (3) 20 枚目
- (4) 25 枚目
- (5) 30 枚目

[No.37] A～Hの8人の子どもが時計回りにA、B、C、D、E、F、G、Hの順に輪になってしゃがんでいる。ある子どもを1番目として時計回りに7番目の子どもが立ち、立った子どもの次の子どもを1番目として時計回りに7番目の子どもが立つ。以下同様に続けていって最後までしゃがんでいたのがHだとすると、最初に立った子どもは誰か。ただし、しゃがんでいる子供だけを数えるものとする。

- (1) A
- (2) B
- (3) C
- (4) D
- (5) E

[No.38] ある職場では職員A～Fの席が図のように3人ずつ向き合って配置されていたが、席替えを行うことになった。まず、A、C、Eはそのままにして、他の3人の席をすべて替えてみた。次に、その状態でD、E、Fはそのままにして、A、B、Cの席をすべて入れ替えた。このとき、決してFの正面又は隣にならないのは誰か。



- (1) A
- (2) B
- (3) C
- (4) D
- (5) E

[No. 3 9] 図1のような正六角形を5つの部分に切り分けたところ、図2の他に4つの断片ができた。その4つの断片に該当しないものは、次のどれか。

ただし、図2及び選択肢の図形のうち記号「||」は、図1の正六角形の1辺の長さと同じことを示している。

図1

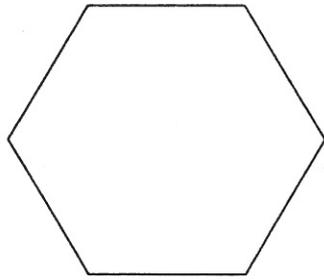


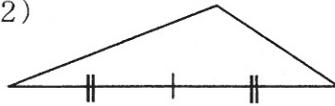
図2



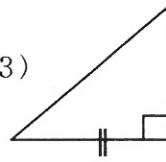
(1)



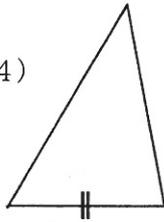
(2)



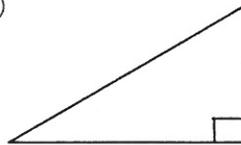
(3)



(4)



(5)



[No.40] 図1のような長方形ABCDがあり、辺ABと辺BCの長さの比は2対3である。また、図2のような1辺の長さが辺ABに等しい正三角形PQRがあり、最初の状態では、正三角形の頂点P及びRが長方形の頂点A及びBに、それぞれ一致しているものとする。正三角形は、反時計回りに長方形に接しながらその外側をすべらずに回転する。1周して正三角形が元の位置に戻ったときまでに、正三角形の頂点Pが長方形と接した点は、最初の状態におけるAの他には図3のどれか。

ただし、図3において、EとFは辺BCを3等分する点、Gは辺CDの中点、HとIは辺ADを3等分する点である。

図1

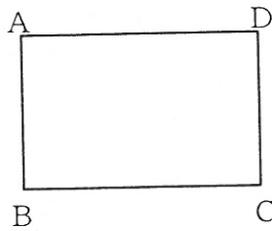


図2

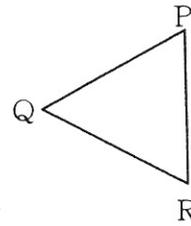
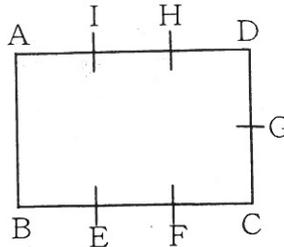


図3



- (1) BとG
- (2) CとI
- (3) DとE
- (4) EとI
- (5) FとH

[No.4 1] 図1に見取り図を示すような8つの面で構成された立体がある。図2がその展開図となるためには、記号をつけていない7つの面の他にア～オのうちの1つが必要であるが、それはどれか。ただし、辺AB、AC、CD、DE、EFの長さは全て等しいものとする。

図1

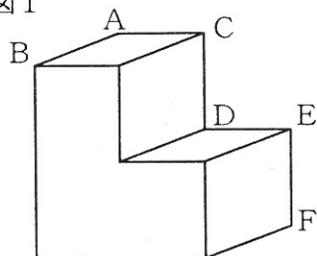
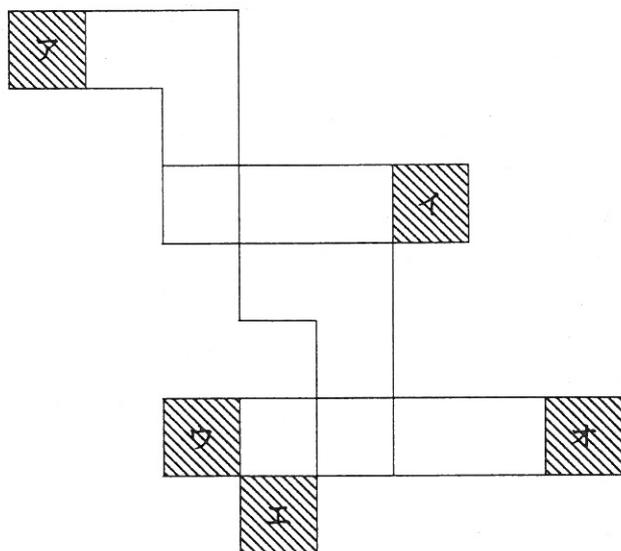


図2



- (1) ア
- (2) イ
- (3) ウ
- (4) エ
- (5) オ

[No.4 2] A、B、Cの3色に塗り分けられた正12面体がある。図1は正12面体のある方向から見たものであり、上下の向きを保ったままで、その反対側から図1で見えない部分を示したものが図2である。図3のア及びイに該当する色の組み合わせはどれか。  
ただし、図2、3の「※」は同一の面を表している。

図1

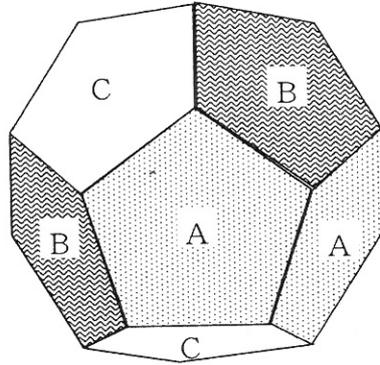


図2

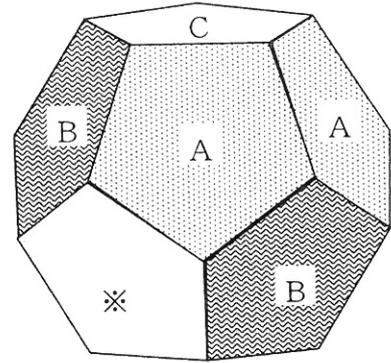
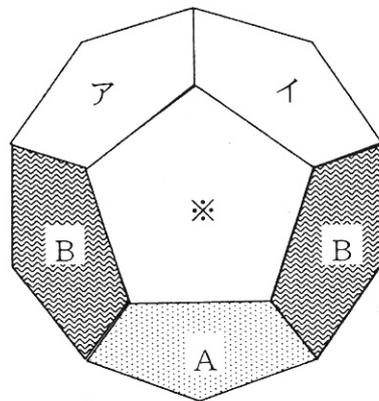


図3



- |     | ア | イ |
|-----|---|---|
| (1) | A | B |
| (2) | A | C |
| (3) | B | A |
| (4) | C | A |
| (5) | C | B |

[No.4 3] 2つの連続する正の整数の積が 2970 ならば、その2つの数の和の一の位の数は、次のどれか。

- (1) 1
- (2) 3
- (3) 5
- (4) 7
- (5) 9

[No.4 4] 2桁の正の整数を  $a$  とし、その十の位の数字と一の位の数字を入れ替えて作った2桁の整数を  $b$  とする。 $a$  と  $b$  の和が  $a$  と  $b$  の差よりも 46 だけ大きいならば、 $a$  と  $b$  の和はどれか。

- (1) 55
- (2) 66
- (3) 77
- (4) 88
- (5) 99

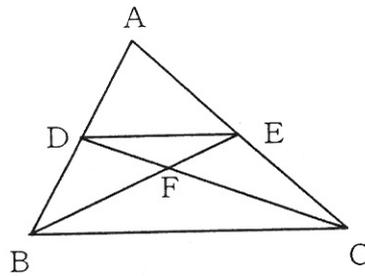
[No.4 5] 2つの容器AとBがあり、これを使って一定量の水を汲むこととした。ただし、毎回必ず容器いっぱい水を汲むものとする。1回目にはAで2杯とBで1杯汲み、2回目にはAで1杯とBで3杯汲んだ。このとき、1回目の水の量と2回目の水の量の比は3対2であった。容器Aの容量は容器Bのその何倍か。

- (1) 3倍
- (2) 4倍
- (3) 5倍
- (4) 6倍
- (5) 7倍

[No.4 6] 研修の2日前に研修資料が配られ、事前に読んでおくようにとの指示があったので、Aはその日に資料の2分の1よりも10ページ余計に読んだ。研修の前日は残業があったので残りの3分の1しか読めず、研修当日Aは全体の4分の1を読まずに参加することになった。この研修資料の総ページ数は、次のどれか。

- (1) 52 ページ
- (2) 60 ページ
- (3) 76 ページ
- (4) 80 ページ
- (5) 92 ページ

[No.4 7] 図の三角形ABCにおいて、辺ABの中点をD、辺ACの中点をE、BEとCDの交点をFとする。このとき、三角形DFEと三角形ADEの面積の比は、次のどれか。



- |     | DFE | ADE |
|-----|-----|-----|
| (1) | 1   | 3   |
| (2) | 2   | 5   |
| (3) | 2   | 7   |
| (4) | 3   | 8   |
| (5) | 3   | 10  |

[No.4 8] 女性2人と男性4人が円卓のまわりに座るとき、女性2人が隣り合う並び方は何通りあるか。

- (1) 24通り
- (2) 48通り
- (3) 60通り
- (4) 72通り
- (5) 84通り

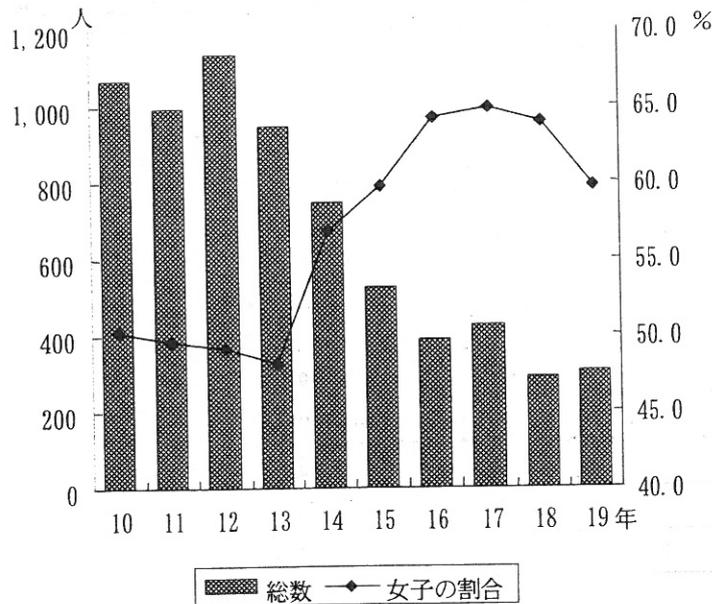
[No.49] 表は、警視庁が受理した騒音に関する苦情について、その種類別構成比を平成19年と平成14年の対比によって示したものである。この表における「建設作業音」に関する苦情件数を実数についてみると、平成14年に対する平成19年の比は、ほぼ2対3であった。このとき、平成19年の苦情件数が平成14年と比べて実数において減少している項目の数は、次のどれか。

(単位：%)

区 分	平成19年	平成14年
機械設備音	1.29	0.97
建設作業音	3.52	3.15
拡声機音	1.74	2.23
楽器・音響機器等	15.36	17.06
人声音	42.85	50.40
作業音	4.04	4.20
遊技音	8.03	7.89
車両音	10.72	8.37
その他	12.45	5.73
総 数	100.00	100.00

- (1) 1項目
- (2) 2項目
- (3) 3項目
- (4) 4項目
- (5) 減少している項目はない。

[No.50] 次の図は、覚せい剤取締法違反で送致した犯罪少年について、平成10年から10年間の推移を示したものである。この図から正しくいえるものはどれか。ただし、覚せい剤取締法違反で送致した犯罪少年を選択肢においては「覚せい剤乱用少年」という。



- (1) 覚せい剤乱用少年の人数を総数で見ると、平成19年には平成10年の4分の1以下になっている。
- (2) 覚せい剤乱用少年のうち女子の人数は、平成19年には平成13年の20%以上も増加している。
- (3) 覚せい剤乱用少年のうち女子の人数は、平成12年と平成17年は前年と比較して増加している。
- (4) 覚せい剤乱用少年のうち男子の人数は、平成13年以降の各年とも、前年に比べて減少している。
- (5) 覚せい剤乱用少年のうち男子の人数は、平成14年に対前年比で100人弱減少している。

# 警察官（I類）国語試験問題

平成21年1月18日(日)実施

## 【注意】

- 1 試験時間は20分です。
- 2 くずし字や乱雑な字は採点の対象とならないので、楷書で丁寧に記入してください。  
また、旧字体や略字は、誤答となります。
- 3 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ることができます。

1 次の( )内の漢字の読みをひらがなで  
書きなさい。(30問)

2 次の( )内のひらがなを漢字で書きなさい。  
(30問)

- (1) 思いがけない知らせに(慟哭)する
- (2) 公正さを(標榜)する
- (3) (哀調)を帯びた音
- (4) (頭巾)を被る
- (5) (凄烈)な戦い
- (6) (蔑視)に耐える
- (7) 景気が(浮揚)する
- (8) 少年のような(仕種)
- (9) 大臣を(更迭)する
- (10) (厭世)主義
- (11) (虚無)感
- (12) 手柄を(吹聴)する
- (13) (渾然)たる融合
- (14) 矛盾が(顕在)化する
- (15) 議会の(形骸)化
- (16) (罹患)率
- (17) (僻地)の病院
- (18) (罵詈)雑言
- (19) きれいな(刺繡)
- (20) (忌憚)なく言う
- (21) (痛痒)を感じない
- (22) 爪(楊枝)
- (23) 読み(耽)る
- (24) (緻密)な細工
- (25) (乾布)摩擦
- (26) (嘆息)をもらす
- (27) (沽券)に関わる
- (28) 事の(顛末)を記録する
- (29) (真骨頂)を発揮する
- (30) (潤沢)な資金

- (1) 経験者を(ゆうぐう)する
- (2) (いさん)相続
- (3) 野球チームの(かんとく)
- (4) 実効性を(たんぼ)する
- (5) (らち)被害者を救う
- (6) 事故の(ゆういん)となる
- (7) 気候の(おんだん)化
- (8) 用意(ばんたん)
- (9) 腕を(ふしょう)した
- (10) 臓器(いしょく)
- (11) (かいこう)一番、相手を批判した
- (12) (ふくわじゅつ)を使った安全教育
- (13) (しもばしら)を踏んで遊ぶ
- (14) 生徒に(しょうがく)金を貸与する
- (15) 懸念を(ふっしょく)する
- (16) 冬山を(せいふく)する
- (17) (ろうきゅう)化した橋
- (18) 相手の立場を(こうりょ)する
- (19) 会社への(きぞく)意識
- (20) (たびかさ)なる事故
- (21) ラジオ(たいそう)
- (22) (あししげ)く通う
- (23) 疑心(あんき)
- (24) (ふじょうり)な行動
- (25) (せんたく)物を干す
- (26) (しゅうち)心のない人
- (27) (ばつぐん)の働き
- (28) (ごうか)絢爛
- (29) 壁画を(しゅうふく)する
- (30) (ごうもん)を禁ずる

平成20年度 警視庁警察官採用試験  
第1次試験 教養試験(五枝択一式)

正 答

試験実施日 平成21年1月18日(日)  
試験区分 男性警察官(I・Ⅲ類)  
正答の掲載期間 1月21日(水)から1月27日(火)まで

※この正答は、警視庁情報公開センター及び都庁都民情報ルームでも閲覧することができます。

I類 教養試験 正答 五枝択一式・50題解答・2時間

1 は問題番号、(1) は正答の番号を表す。

1	(3)	2	(4)	3	(1)	4	(5)	5	(5)	6	(2)	7	(1)	8	(4)	9	(4)	10	(1)
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	----	-----

11	(5)	12	(2)	13	(3)	14	(1)	15	(1)	16	(5)	17	(5)	18	(3)	19	(3)	20	(4)
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----

21	(2)	22	(2)	23	(3)	24	(1)	25	(2)	26	(5)	27	(5)	28	(2)	29	(4)	30	(3)
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----

31	(4)	32	(4)	33	(5)	34	(3)	35	(2)	36	(1)	37	(3)	38	(4)	39	(2)	40	(1)
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----

41	(3)	42	(4)	43	(5)	44	(1)	45	(5)	46	(4)	47	(1)	48	(2)	49	(5)	50	(3)
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----

# 警察官（I 類）論文試験

平成 21 年 1 月 18 日（日）実施

## 【注意事項】

- 1 字数は **1,000 字程度**、時間は **80 分** です。
- 2 答案用紙の所定欄に、該当する受付番号をマークしてください。右上部の※欄、及びマーク欄には何も記入しないでください。
- 3 答案用紙の課題欄には、**必ず下記の課題を記入**してください。
- 4 答案用紙は左横書きとし、枠外及びその他余白には何も記入しないでください。
- 5 メモ等をした場合には、本紙の余白及び裏面を使ってください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ることができます。

～ 課題の無断転載及び複製を一切禁止します。 ～

## 【課題】

今後の警察の在り方について述べた後、警察官を志した動機を述べなさい。

【出典一覧】

- [No. 2 6] JULIAN HUXLEY, The Intelligence of Birds
- [No. 2 7] Kenichi Ohmae, The Borderless World
- [No. 2 8] 和辻 哲郎『風土』
- [No. 2 9] ルソー『社会契約論』桑原武夫・前川貞次郎訳
- [No. 3 0] ロラン・バルト『言語のざわめき』花輪光訳
- [No. 3 1] 黒田 亘 『経験の問題』
- [No. 3 2] 竹田 青嗣『自分を知るための哲学入門』
- [No. 3 3] 南部 陽一郎『クォーク』